

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】特開 2003-126337 (P2003-126337A)
 【公開日】平成 15 年 5 月 7 日 (2003.5.7)
 【出願番号】特願 2001-321908 (P2001-321908)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 5/04

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 3 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 30 日 (2004.9.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の回胴を回転させたあと停止させることにより遊技を行う遊技機において、
 遊技者に示唆すべき示唆情報があるときには、前記複数の回胴の回転開始時に前記複数の回胴の少なくとも 1 つを不規則に動作させてから回転を開始させる回胴制御手段、
 を備えた遊技機。

【請求項 2】

前記回胴は、その周囲に複数の識別要素が配置されたものであり、前記示唆情報は、遊技者にとって有利な特別遊技に移行可能な状態になったことである、請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記回胴制御手段は、前記示唆情報に応じて、前記複数の回胴のうちどの回胴を不規則に動作させるかが定められている、請求項 1 又は 2 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 4】

前記回胴制御手段は、前記複数の回胴の少なくとも 1 つを不規則に動作させてから回転を開始させたあと、更に前記不規則に動作させた回胴又はそれと異なる回胴を不規則に動作させる、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の遊技機であって、
 前記回胴を回転又は停止させる回胴駆動手段、
 を備え、

前記回胴制御手段は、前記示唆情報があるときには、前記回胴駆動手段を介して前記複数の回胴のうち少なくとも 1 つを不規則に動作させてから回転を開始させるか、又は、回転を開始させたあと更に前記不規則に動作させた回胴若しくはそれと異なる回胴を不規則に動作させる、遊技機。

【請求項 6】

前記回胴駆動手段は、ステッピングモータである、請求項 5 に記載の遊技機。

【請求項 7】

前記回胴制御手段は、順次励磁すべき前記ステッピングモータの相の順番をとばすことにより前記回胴を不規則に動作させる、請求項 5 又は 6 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

手段1．複数の回胴を回転させたあと停止させることにより遊技を行う遊技機において

、
遊技者に示唆すべき示唆情報があるときには、前記複数の回胴の回転開始時に前記複数の回胴の少なくとも1つを不規則に動作させてから回転を開始させる回胴制御手段、
を備えた遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

手段3．前記回胴制御手段は、前記示唆情報に応じて、前記複数の回胴のうちどの回胴を不規則に動作させるかが定められている手段1又は2のいずれかの遊技機。こうすれば、遊技者は、どの回胴が不規則に動作したかによってどんな情報を示唆しようとしているのかを知ることができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

手段4．前記回胴制御手段は、前記複数の回胴の少なくとも1つを不規則に動作させてから回転を開始させたあと、更に前記不規則に動作させた回胴又はそれと異なる回胴を不規則に動作させる手段1～3のいずれかの遊技機。こうすれば、遊技者は回胴の不規則な動作に一層気づきやすくなる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

手段5．手段1～4のいずれかの遊技機であって、前記回胴を回転又は停止させる回胴駆動手段を備え、前記回胴制御手段は、前記示唆情報があるときには、前記回胴駆動手段を介して前記複数の回胴のうち少なくとも1つを不規則に動作させてから回転を開始させるか、又は、回転を開始させたあと更に前記不規則に動作させた回胴若しくはそれと異なる回胴を不規則に動作させる遊技機。こうすれば、回胴駆動手段と制御手段とを用いることにより比較的簡単な構成で上述の作用効果を奏することができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

手段7．前記回胴制御手段は、順次励磁すべき前記ステッピングモータの相の順番をと

ばすことにより前記回胴を不規則に動作させる手段 5 又は 6 の遊技機。こうすれば、相のずれを発生させることにより比較的容易に回胴を不規則に動作させることができる。